市町村への支援と連携した取組事例

平成28年10月
復興・総合計画課

資料3

Ⅱ 基本方針

地域の潜在能力・強みを最大限生かし、限られた期間及び財源で結果を出すため、
①即効的で実効性の高い施策
②新たにチャレンジする施策
③意欲ある**市町村**や企業**と連携した取組**

Ⅱ 戦略の分析

○H27年度：全59市町村が総合戦略を策定
○市町村の基本目標は、**県の目標とほぼ一致**
（目標が一致する市町村の割合）
①しごとづくり・・・94.9%　③結婚・出産・子育て・・・91.5%
②ひとの流れ・・・91.5%　④まちづくり・・・83.1%

Ⅲ 課題の共有

＜関係の強化へ向けた取組＞（H28.4～現在）
①各地方振興局での市町村との**意見交換会（8回）**
②市町村訪問、現地調査**（9回、19市町村）**
③市町村担当課長会議**（1回）**
④相談体制の強化（専属担当の配置）
⇒**共通する課題を共有し、連携した取組も検討**

（参考）地方創生交付金の状況

（1）地方創生加速化交付金（H27年度補正予算、国費100%）
○採　択：**49市町村**　○交付額：**21億5千4百万円**
例）①福島県北5市町誘客推進事業（福島市ほか4町連携）
⇒リーサスコンテスト大臣賞を受賞した中学生の提案等
②史跡慧日寺後を中核としたブランディング戦略
⇒薬草の栽培研究、道の駅と連動した情報発信等

（2）地方創生推進交付金（H28年度当初予算、国費50%）
○採　択：**18市町村**　○交付額：**1億3千3百万円**
例）①農業の新たな「風」によるしごとづくりプロジェクト
⇒県・二本松市・塙町の連携事業

Ⅳ 市町村と連携した取組事例

移住希望者を地域に誘導するモデル事業

	福島県	天栄村
H27	○田舎暮らし体験ツアー ○空き家情報の整備 ○短期滞在住宅の整備	○県事業への協力 ・空き家調査 ・ツアー受入 ・情報収集　など
H28	○空き家相談体制の構築 ○短期滞在住宅の運営 ○首都圏等での情報発信	○田舎暮らし体験ツアー ○空き家バンクの創設 ○しごとづくり（環境整備）
H29	○「しごと」「住居」「受入支援」のパッケージ化 ○他地域への展開方法等の検討	○しごとづくり（具体化） ○空き家相談体制の運用開始 ○戦略的な情報発信　など

「しごと」×「住居」などをセットにしたモデルケースを他の地域へ水平展開

田舎暮らし体験ツアー

短期滞在型住居